

エスビューロー成果報告会&講演会のご案内

～私たちは、親御さん!あるいは小児がん経験者本人!が、「よりよく生きる」を実現するための道具としてこのICFを使いこなしてほしいと考えています～

①報告

園芸療法プログラム&ICFによるアセスメントより

発表者：兵庫県立大学専門職大学院准教授
豊田正博氏

■4組の小児がん経験者に5回の園芸療法を実施しました。また園芸療法を受けた小児がん経験者についてICFによる評価を試行しました。その成果をご報告頂きます。

②講演

「ICFの活用による社会的参加の促進」 ～わが子がよりよく生きることに向けて～

講演者：独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター 主任研究員 春名由一郎氏

■春名先生は難病患者の就労問題に詳しく、国の難病対策委員も務められています。昨年の小児がん学会「がんの子どもを守る会公開シンポジウム」ではシンポジストをされました。

③報告：ICF関連図作成ワークに向けてのヒアリングより エスビューロー<原副院長(大阪市立総合医療センター)・安道・長澤・井村・石川>

◆ICFを使って下記の例を紹介します◆

- 積極的な働きかけで学校の合理的配慮を引き出した小学生のIさん
- 新しい友人との出会いにより笑顔が戻ってきた高校生のHさん
- 得意な手芸を軸に縁が広がり、活躍の場を模索するAさん
- 熱心なジョブコーチの支援によって身の丈サイズの就労を手にしたTさん

●日時：2016年3月13日(日)13時半～16時半(開場13時15分)

●場所：グランフロント大阪(JR大阪駅直結)北館タワーB 10F
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム「B08」

●申込み：小児がん患児・家族支援 NPO法人エスビューロー 072-622-6730
電話(留守電に名前・連絡先吹き込み可)メール・郵送で受け付けます。
申込み用紙はエスビューローHPからダウンロードできます

ご家族・当事者・小児がんに関わる方々!
新しい取り組みです!是非参加し学んでください!
◆広報冊子『生命の躍動を発見し参加へと育てる』を参加者に配布予定◆

- ICFとは、リハビリテーション医療や障害児教育分野で健康状態のアセスメントにもちいられている「国際生活機能分類」です。
- ICFは、晩期合併症が、どのように活動を制限し、人との交流(参加)を制限しているかを描き出します。しかし、症状がありながらも、**合理的配慮※**(学校や職場)というサポート(環境因子)によって、社会的な参加(進学、就労、交流)が可能であることを描き出してくれるのです
- 合理的配慮とは「障害者(病弱児)一人一人の必要を考えて、その状況に応じた変更や調整などを、お金や労力などの負担がかかりすぎない範囲で行うこと」。病弱児に対しては「入院、定期健診等により欠席した授業の学習内容の補完」や「学校での看護師の配置」なども合理的配慮に該当する。**障害者権利条約**によって学校や職場などに課せられる予定。
- ICFを活用するメリット
 - ・長所・プラスに目が行く・悪循環を逆回転できる
 - ・あきらめていたことに解決に糸口を見つけられる
 - ・衆智を結集できること

